

## 《令和2年度 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
頼瑠撰『真俗雑記問答鈔』訳注研究会	小宮 俊海
研究会名 略称： 真俗雑記	所 属： 智 山
活 動 紹 介	
<p>【活動内容】  『真俗雑記問答鈔』は、新義真言教学の祖と称される中性院俊音房頼瑠僧正(1226～1304)が、その時々書き溜めた記事を集めた書物である。その条目は1320余項にのぼり、書名の如く真言密教や仏教諸宗派に関わる事項はもとより、頼瑠自身の夢記や和歌、さらには公家の修法や諸家との手紙、和歌論や世典に関する記事など、その内容は多彩である。1人の真言僧侶による教理的著作の域を超え、中世に生きた頼瑠の人物像、さらには当時の宗教文化や社会状況までも窺い知ることのできる貴重な資料と言えよう。  本研究会は諸写本を聚集し、そのなかで巻数の揃った最も古い写本である「智積院新文庫蔵本」を底本に定め、順次校訂本文の作成と訳注研究を進めている。</p>	
<p>【活動実績】※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など  『真俗雑記問答鈔』の翻刻・校訂研究会編[2014]大正大学総合佛教研究所叢書第27巻『《頼瑠撰》『真俗雑記問答鈔』の研究』ノンブル社。  『真俗雑記問答鈔』訳注研究会[2014-2020]「頼瑠撰『真俗雑記問答鈔』訳注(1～7)―巻第1～巻4ノ2―」『大正大学総合仏教研究所年報』第36～42号。</p>	
<p>【平成30年度活動計画】  『真俗雑記問答鈔』訳注研究会[2021]「頼瑠撰『真俗雑記問答鈔』訳注(8)―巻第4ノ3―」『大正大学総合仏教研究所年報』第43号への寄稿原稿作成。  研究会メンバーによる各種学会への発表、個人論文執筆ならびに各寺院経蔵聖教調査等。</p>	